

ものである。

國民體力法中改正法律施行期日の件

公布

第七十九回帝國議會の協贊を経たる國民體力法中改正法律については本誌前號本欄所載の如くであるが、その施行期日に關する勅令は昭和十七年四月二十八日付官報を以て左の如く公布された。

國民體力法中改正法律施行期日ノ件

(昭和十七年四月二十七日
勅令第四百五十二號)

昭和十七年法律第三十七號ハ昭和十七年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

國民體力法施行令中改正の件公布

國民體力法の改正に伴ひ改正を見た同法施行令中一部改正の件は昭和十七年四月二十八日付官報を以て左の如く公布せられた。

國民體力法施行令中改正ノ件

(昭和十七年四月二十七日
勅令第四百五十三號)

國民體力法施行令中左ノ通改正ス

第一條ノ二 國民體力法第四條第一項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スル被管理者(以下要検査被管理者ト稱ス)ノ體力検査ハ厚生大臣ノ定ムル被管理者ニ付テハ年二回、其ノ他ノ被管理者ニ付テハ年一回之ヲ行フ

第十八條第二項ノ規定ニ依リ行フ體力検査ヲ受クル

コトヲ要スル被管理者ノ體力検査ハ前項ノ規定ニ拘ラズ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ定ムル被管理者ニ付テハ年一回其ノ他ノ被管理者ニ付テハ年二回之ヲ行フ、第一條ノ三 其ノ年兵役法第二十三條又ハ第四十一條ノ規定ニ依リ徴兵検査ヲ受ケ又ハ受クルコトヲ要スル要検査被管理者ニ付テハ前條ノ規定ニ依リ二回體力検査ヲ受クルコトヲ要スル者ニ在リテハ一回ノ體力検査ヲ、同規定ニ依リ一回體力検査ヲ受クルコトヲ要スル者ニ在リテハ之ヲ行ハザルコトヲ得但シ其ノ者ガ其ノ年徴兵検査ヲ受ケザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二條中「國民體力法第四條第一項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スル被管理者(要検査被管理者)ヲ「要検査被管理者」ニ改ム

第三條中「四月十日」ヲ「四月一日」ニ改ム

第四條中「第二條」ノ下ニ「及國民體力法第六條ノ二第二項但書」ヲ加フ

第六條第二項中「體力検査ヲ行フベキ日時ハ毎年七月一日ヨリ九月三十日迄」ヲ「第一條ノ二ノ規定ニ依リ體力検査ヲ行フベキ日時ハ毎年五月一日ヨリ十月三十一日(年二回行フ場合ニ在リテハ十二月三十一日)迄」ニ改ム

第十一條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第一條ノ二ノ規定ニ依リ年二回體力検査ヲ受クルコトヲ要スル者ノ第二回日ノ體力検査又ハ國民體力法第六條ノ二第一項ノ規定ニ依リ體力検査ニ在リテハ其ノ一部ヲ省略スルコトヲ得

第十二條第一項ヲ削リ同條第二項中「前項ノ規定ニ依リ記載スベキ事項」ヲ「國民體力法第八條第二項ノ規定

(國民體力法第六條ノ二第三項ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)ニ依リ體力手帳ニ記載スベキ事項」ニ改ム第十七條第一項中「國民體力法第十二條第一項ノ規定ニ依ル」ノ下ニ「體力検査ニ基ク」ヲ、及同條第二項中「國民體力法第十二條第一項ノ規定ニ依リ」ノ下ニ「體力検査ニ基ク」ヲ加フ

第十九條第一項中「第十二條第一項ノ規定ニ依ル」ノ下ニ「體力検査ニ基ク」ヲ、及同條第二項中「第十二條第一項ノ規定ニ依リ」ノ下ニ「體力検査ニ基ク」ヲ加フ

第二十二條第一項中「國民體力法第四條第二項、第六條、第十一條及第十二條ノ規定」ヲ「國民體力法第六條ノ規定並ニ同法第四條第二項、第十一條及第十二條ノ規定(同法第六條ノ二第三項ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)」ニ改メ同條第二項中「第十條ノ規定」ノ下ニ「(第二十二條ノ二 第二項ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)」ヲ加フ

第二十二條ノ二 國民體力法第六條ノ二第一項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受ケシムルコトヲ得ル者ハ左ニ掲グルモノトス但シ國民體力法第二條各號ニ掲グル者及第二十條第一項ノ施設ニ在ル者ハ此ノ限ニ在ラズ

一 事務所、商店、工場、事業場等(第十八條第一項及第二項ノ國ノ事業場ヲ除ク)ニ於テ集團シテ従事スル者

二 學校(第五條第一項第一號及第二號ノ學校ヲ除ク)ニ在學若ハ在園シ又ハ勤務スル者

三 特ニ體力検査ヲ行フ必要アリト認ムル区域内ニ於テ居住又ハ従業スル者

四 其ノ他厚生大臣ノ指定スル者

第五條、第八條乃至第十條、第十六條、第十八條第

三項、第二十條第二項及第二十一條ノ規定ハ前項ニ揭グル者ノ體力検査ニ之ヲ准用ス

第二十二條ノ三 國民體力法第十二條ノ二ノ規定ニ依リ指示スルコトヲ得ル處置又ハ施設ハ保健指導、虛弱者ノ體力増強、榮養又ハ環境ノ改善等ニ關スルモノトス

第二十二條ノ四 國民體力法第十四條ノ二ノ規定ニ依リ保健所ノ長ヲシテ行ハシムルコトヲ得ル地方長官ノ職權ハ同法第十一條及第十二條並ニ第四條、第五條、第十五條、第十八條第三項及第二十條第二項(第五條及第十八條第三項ニ關シテハ第二十二條ノ二第二項ノ規定ニ依リ准用スル場合ヲ含ム)ニ規定スルモノ其ノ他命令ヲ以テ定ムルモノトス

附則

本令ハ昭和十七年法律第三十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十七年ニ限り第三條ノ改正規定中毎年四月一日現在トアルハ五月一日現在トス

〔參照〕

昭和十五年九月二十日勅令第六百二十號國民體力法施行令抄録

第二條 地方長官ハ國民體力法第四條第一項ノ規定ニ依リ體力検査ヲ受クルコトヲ要スル被管理者

(要検査被管理者)ヲ當時四十人以上使用スル事務所、商店、工場、事業場等ノ事業主又ハ管理人ニ對シ其ノ使用スル要検査被管理者ノ體力検査ヲ行フコトヲ命ズベシ但シ事業主若ハ管理人ガ體力検査ヲ行フコトヲ困難トスル事情アリト認めラレルトキ又ハ事業主若ハ管理人ヲシテ體力検査ヲ行ハ

シムルコトガ不適當ト認めラレルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 要検査被管理者ヲ當時四十人以上使用スル事務所、商店、工場、事業場等事業主又ハ管理人ハ毎年四月十日現在ニ依リ其ノ使用スル要検査被管理者ノ數ヲ地方長官ニ届出ヅベシ此ノ場合ニ於テ事業主又ハ管理人ガ體力検査ヲ行フコトヲ困難トスル事情アルトキハ其ノ旨併セ届出ヅベシ

第四條 第二條ノ規定ニ依リ事業主又ハ管理人ヲシテ體力検査ヲ行ハシムル場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ施行ヲ指揮監督シ關係官吏ヲ立會ハシムベシ

第六條第二項 體力検査ヲ行フベキ日時ハ毎年七月一日ヨリ九月三十日迄ノ期間内ニ於テ之ヲ定ムベシ但シ學校又ハ幼稚園ノ長ノ行フ體力検査ニ在リテハ毎年四月一日ヨリ六月三十日迄ノ期間内ニ於テ其ノ日時ヲ定ムベシ

第十一條 體力検査ハ命令ノ定ムル所ニ依リ身體計測、機能検査及疾病異常檢診ヲ行フモノトス

第十二條第一項及第二項 體力検査ノ結果ハ體力手帳ニ之ヲ記載スルモノトス國民體力法第十條乃至第十二條ノ規定ニ依リ體力向上ニ關スル指導若ハ指示ヲ爲シ又ハ療養ニ關スル處置ヲ命ジタルトキ亦同ジ

前項ノ規定ニ依リ記載スベキ事項ニシテ醫務ニ關スルモノハ國民體力管理醫ニ於テ、其ノ他ノモノハ體力検査ヲ行フ者ニ於テ之ヲ記載スベシ

第十七條 第五條第一項第一號又ハ第二號ノ學校ニ在學又ハ在園スル被管理者(夜間又ハ季節的ニ授

業ヲ受クル者ヲ除ク)ニ對スル國民體力法第十二條第一項ノ規定ニ依リ療養ニ關スル處置命令ハ當該學校ノ長ニ於テ之ヲ爲スベシ

前項ノ被管理者ニ付保護者ニ對シ國民體力法第十二條第一項ノ規定ニ依リ療養ニ關スル處置ヲ命ズルノ必要アリト認めムルトキハ當該學校ノ長ハ其ノ旨保護者ノ居住地ヲ管轄スル地方長官ニ通報スベシ

第十九條 前條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ國ノ事業場ノ長ニ於テ體力検査ヲ行フ被管理者ニ對スル國民體力法第十一條又ハ第十二條第一項ノ規定ニ依リ體力向上ニ關スル指示又ハ療養ニ關スル處置命令ハ當該事業場ノ長ニ於テ之ヲ爲スベシ

前項ノ被管理者ニ付保護者ニ對シ國民體力法第十一條又ハ第十二條第一項ノ規定ニ依リ體力向上ニ關スル指示ヲ爲シ又ハ療養ニ關スル處置ヲ命ズルノ必要アリト認めムルトキハ當該事業場ノ長ハ其ノ旨保護者ノ居住地ヲ管轄スル地方長官ニ通報スベシ

第二十二條 第二十條ノ規定ニ依リ體力検査ヲ行フ場合ニ於テハ國民體力法第四條第二項、第六條、第十一條及第十二條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第二十條ノ規定ニ依リ體力検査ヲ行フ場合ニ於テ必要アルトキハ第八條乃至第十條ノ規定ニ拘ラズ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

國民醫療法の一部施行期日の件公布

第七十九回帝國議會の協贊を経たる國民醫療法については本誌前號本欄所載の如くであるが、その一部施行期日に關する勅令は昭和十七年四月十六日付官報を